

この世界の命の見方

橘中学校 三年 久保田 美桜

私は半年前、大切な人を突然病気で亡くしました。その時私は身近な人がいなくなるのがこんなにもつらく、悲しいものだと思えて実感しました。いるのが当たり前だと思っていた人が突然いなくなる。色々な感情が入り交じり、とにかく大きな喪失感で胸がいつぱいになりました。考えても意味がないと分かっている、毎日どこかで思い出して泣いています。人生でこんなに泣いたことも、いろいろ考えたのも初めてで、自分や人生を見つめ直す機会となる時間だったと感じます。

この経験から私は学んだことがあります。それは「命の大切さ・重さ」です。そんなの当たり前だと思う人もいるでしょう。しかし私たちは今、その当たり前に思えるこのことをどれだけ意識して過ごしているでしょうか。例えば、皆さんが毎日のように接しているインターネットの世界でも、相手の命を軽んじる発言はたくさん書き込まれています。そういった声に心を病んで、悲しい結末を迎えてしまった人のニュースも後を絶ちません。漫画やゲームの世界でも、ひどい言葉や残酷な描写は多いです、それに影響を受けてひどい言葉を使う人もいます。また、毎日のように流れてくる戦争や災害の情報は、その情報の裏にどれだけの被害者がいるのか……考えるだけでつらくなります。自分のこととして命の大切さを実感できている人がどれだけのいるのか不安になります。

今、世界は便利になりました。普段は決して関わることでできない人ともつながれるし、距離を縮めることだって可能です。しかし、その便利さの陰で、人間同士の深い関わりのお会はどんどん減っているように感じます。相手と直接顔を合わせて話す機会の少ない世界では、どうしても相手のことを考える視点が欠落してしまいがちなのではないのでしょうか。その結果が、相手の尊厳を傷つける言葉や行動に繋がっているとしたら、とても怖いことです。直接相手と関わっていたら、おそらく言えないようなことも、感情に任せて書き込めちゃう、実行に移してしまうのは、便利というより悲しい世界と言えるのではないのでしょうか。

便利さの陰で、私たちの生活に欠けてしまったもの。それはまさに「思いやりの心」です。私たちは、想像力を身に付けていかねばなりません。想像力は、相手の立場になってみたり、もしかしたら……と考えてみたり、社会でいろいろな人と、上手く付き合っていくために欠かせない力からです。

皆さんには大切な人はいますか。絶対に守りたい人はいますか。その人が、もしつらい思い

をしていたら、どう感じますか。「なぜそんなひどいことを…」とつらくなりませんか。みんな同じです。誰でも、大切に思う人がいて、大切に思われている存在でもあります。想像力を育てれば、そのことはきつと実感できるとでしょう。そして相手への「思いやりの心」を持つてはります。私はそのことを忘れることなく、これからの人生を生きていきたいと思えます。皆さんも「思いやりの心」を持って、命の大切さをもう一度考えてみませんか。誰もがその存在を大事にされる、そんな世界を目指してみませんか。

私は一人ひとりが少しずつ変われば、世界はきつと良い方向に変わっていきけると信じています。私はそのための一歩を踏み出したいと思えます。